

令和4年度 都田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

都田地区は総人口約2,200人、65歳以上の割合は増加傾向にあり、高齢者率18.41%と区内平均よりもやや高くなっています。都筑区内で最も広く計画的な街づくりをされた商業施設の多い地域や都筑野菜の生産が盛んな市内有数の農業専用地区、宅地や業務施設と農地が混在する地域、また一方では大規模な工場や倉庫の多い地域と多彩な環境を有しています。連合町内会の構成は11自治町内会、これに地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等の活動団体も加わり活発に安心安全なまちづくり活動がおこなわれています。

地域ケアプラザにおいては地域包括支援センター・地域活動交流。生活支援の各部門がしっかりとした支援体制が確立し、地域福祉・保健活動の拠点として、地域ニーズと課題の把握に努め事業展開及び情報発信を継続的にを行い、地域及び活動団体や関係機関と連携して課題解決と地域福祉保健活動の推進を支援します。

高齢者、子育て、障害児者の各支援を地域支援の支柱とし、偏ることなく施設運営し関連諸団体等との連携を深めながら継続的支援を行い、新たな地域福祉の担い手発掘も含めた福祉保健活動を展開します。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>[地域ケアプラザの相談機能の周知]</p> <p>高齢者、障害者、子供、生活困窮者等、対象を問わず本人、その家族や地域の方々の相談を受け、適切な支援やサービス、関係者につなぐ機能として周知されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険に限らず、多岐にわたる相談を受ける。 ・気軽に相談ができる環境を整える。 ・遠方なエリアは積極的に出向き、相談を受ける。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p><「地域の社会資源」の把握></p> <p>地域内の「専門的な支援」「地域住民による支援」等の資源(個別の資源のみではなくネットワーク情報等含む)について十分に把握する。下記を訪問したり、地区センターとも連携を深め、子どもからお年寄りまで幅広い情報収集を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン、赤ちゃん会、子育て支援者会場 ・都田小学校、折本小学校 ・サービスB ・老人会
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p><地域支援方針及び地域支援計画の決定と適切な遂行></p> <p>地域の情報やニーズを地域ケアプラザ内や関係する専門職と共有し、地域支援方針及び地域支援計画を決め、役割分担が行われている。</p> <p>地区の民児協や地区・社協の会合等に積極的に出向き、地域情報を収集するとともに顔の見える関係づくりを構築します。</p> <p>地区の民児協や地区社協の会合等に積極的に出向き、地域情報を収集するとともに顔の見える関係づくりを構築します。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p><課題解決に向けた働きかけ></p> <p>地域づくりに必要な生活支援・介護予防・社会参加にかかる住民主体の支援や活動の創出・継続・発展等にむけた働きかけ等を行い、地域の課題解決に結びつけることができている。</p> <p>地域のニーズに合った生活支援・介護予防・社会参加にかかる住民主体の支援や活動につながるような事業を行い、顔の見える関係づくりを行います。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p><既存の取り組み支援></p> <p>地域で福祉・保健サービスを提供・支援し活動している団体、関係機関、企業等を地域の社会資源として地域住民に情報共有している。</p> <p>地域で福祉・保健サービスを提供・支援し活動している団体及び事業所、関係機関、企業等を把握する。各団体が、どのような取り組みをされているかを十分に理解していく。</p> <p>各職種が地域で行われる地域カフェやサロン、老人クラブや民生児童委員連絡会等福祉保健活動に参加して問題・課題等の把握に努めます。5職種で各団体へ積極的にアプローチして得られた情報を共有して、その中から課題等を見つけていきます。</p>

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

・「地域ケアプラザの相談機能の周知」は相談件数は3月末時点で130件となり地域福祉保健の総合窓口としての役割を果たせるようになってまいりましたが、引き続き周知活動を地域活動団体の協力も得ながら継続して進めます。

・「地域の社会資源」の把握に関しては情報収集が思うように進まず今後の課題として残りますがコロナ感染症の終息に向けて地域活動に参加する機会も増え次年度には期待できる成果が得られると感じます。

・「地域支援方針及び地域支援計画の決定と適切な遂行」は地域との顔見える関係づくりも進み専門職同士の連携も順調で地域ニーズの把握することができました。次年度にはさらに充実した形で展開できると感じます。

・「課題解決に向けた働きかけ」は介護予防を軸に事業を企画し地域の参加者も徐々に増えています。集客数の増加は地域ニーズの把握にも役立てることができました。

・「既存の取り組み支援」葛が谷地域ケアプラザから引き継ぎではありませんが、新設施設として地域活動団体とは新たな関係を築く必要性がありました。関わり方は今までを継承するだけでなく都田地域ケアプラザとして独自の方向性も示しながら各団体の活動内容を把握しつつ活動支援につなげられるよう努めました。

現在は地域の活動団体との関係性も良好で既存の取り組みを継続して支援できる状況となっています。

□ 区からのコメント

開所初年度の運営にあたっては、新型コロナの影響もある中で、地域のニーズ把握、分析、個々の相談者の方への対応、施設の情報発信、アウトリーチによる講座実施等を丁寧に行っていただいたことで、地域の福祉保健の総合相談窓口としての役割が浸透しました。また、地区センターと地域ケアプラザの2つの機能をもつことで、子育て世代、高齢者、障害者など、幅広い対象者向けに自主事業を展開していただきました。運営協議会の委員の皆様はじめ、施設の運営にかかわっていただける利用者、地域の皆様が徐々に広がってきていることと思います。

令和5年度は地域福祉保健計画の地区別の中間振り返りも予定されています。引き続き様々な機会を通じて地域のニーズをくみとっていただき、各部門の事業につなげていただければと思います。

令和4年度都田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>地域包括支援センターは、横浜市地域包括支援センター運営事業実施要綱にて、職員の責務として「包括センターの職員は、公正中立性に十分留意して行動しなくてはならない」とされており、また、居宅介護支援事業者においては、横浜市指定居宅介護支援の事業の人員、運営等の基準に関する条例にて、基本方針として「指定居宅介護支援事業者は、指定居宅介護支援の提供に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は特定の指定居宅サービス等事業者に不当に偏することのないよう公正中立に行わなければならない。」とされています。これらの遵守は利用者による適切な自己決定権の確保という観点から最重要課題の一つと考えています。</p> <p>① 相談者の住所地、心身状況、世帯状況、経済状況、意向等を聞き取り、これらを踏まえつつ、相談者にとってより有益なサービスを選択するため、介護保険サービス事業者等を含めた社会資源、社会制度等を分かりやすく説明し、複数の選択肢を提示します。</p> <p>② 選択肢の提示の際には、市発行の情報誌「ハートページ」を活用し、さらに各事業者パンフレットや公的機関による公開情報をくわえて、口頭だけでなく、書面(もしくは、タブレット端末における画面上)による視覚情報も交え分かり易く説明します。</p> <p>③ 利用者及び家族がご自身の希望に沿った事業所を選択の支援をします。</p> <p>④ 利用者が自己決定にて選択したサービス提供事業者についても、通常、契約に基づき、利用者には解除権が付与されており、利用者が解除を希望する際には、新たなサービス提供事業者を選択可能である事を説明します。</p>	<p>事故防止対策及びコンプライアンス遵守 事故防止は対応フロー、連絡体制、報告・判断基準も明示した法人統一の事故防止マニュアルを用いています。</p> <p>ケアプラザの貸館利用者については、災害時の避難誘導の手順、利用者へ火器使用の際の注意喚起、爆発物、危険物の持ち込み防止、使用後の清掃、電気ガスの消し忘れ等をチェックリストにして点検を利用者に周知するとともに、職員もチェックリストを用いて日常的に巡視点検を行い事故防止対策に取組みます。</p> <p>ケアプラザ内の定例職員会議で、関係法令を遵守、事故防止、感染症対策、労働安全衛生等をテーマに対策を検討し、各部審会議で対策の徹底を図りました。また、過去に発生したヒヤリハットをもとに原因分析を実施し、必要に応じて改善するとともに、職員研修を実施し、事故防止の徹底を図ります。</p> <p>個人情報の管理の方針 地域ケアプラザにおいては、介護保険関連利用者及び施設利用者の個人情報等を多数保有することになります。このため、「個人情報の保護に関する法律」等の法令、厚労省のガイドライン、横浜市の「個人情報保護条例」を遵守します。</p> <p>また、秀峰会の「個人情報保護に関する規程」に従って利用者の権利・利益を保護するために、個人情報の適切な取扱に関し必要な事項を「個人情報保護に関するマニュアル」に定め、職員研修を実施し個人情報保護の意識向上を図ります。</p>
実績	<p>地域包括支援センターの職員は「横浜市地域包括支援センター運営事業実施要綱」を厳守し公正中立性に十分留意しました。居宅介護支援の提供の際には利用者の意思及び人格を尊重し常に利用者の立場に立ち実施しました。利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は特定の指定居宅サービス等事業者に不当に偏することのないよう努め、利用者が適切に自己決定をできることを念頭に置きながら業務を行いました。</p> <p>① 相談者の住所地、心身状況、世帯状況、経済状況や意向等を聞き取り、相談者にとってより有益なサービスが選択されるよう、介護保険サービス事業者等を含めた社会資源、社会制度等を分かりやすく説明し複数の選択肢を提示しました。</p> <p>② 選択肢提示の際には市発行の情報誌「ハートページ」を活用し、各事業者パンフレットや公的機関による公開情報に加え、口頭だけでなく書面(もしくは、タブレット端末における画面上)による視覚情報も交え可能な限り分かり易い説明を致しました。</p> <p>③ 利用者及び家族がご自身の希望に沿った事業所を選択出来る様にお手伝いを致しました。</p> <p>④ 利用者が自己決定にて選択したサービス提供事業者についても、通常、契約に基づき、利用者には解除権が付与されている事が多く、利用者が解除を希望する際には、新たなサービス提供事業者を選択可能である事を説明を致しました。</p>	<p>①事故防止対策及びコンプライアンス遵守 事故防止は対応フロー、連絡体制、報告・判断基準も明示した法人統一の事故防止マニュアルを用いています。</p> <p>ケアプラザの貸館利用者に対し、災害時の避難誘導の手順、避難経路の説明、利用者へ火器使用の際の注意喚起、爆発物、危険物の持ち込み防止、使用後の清掃、電気ガスの消し忘れ等をチェックリストにして点検を利用者に周知するとともに、職員もチェックリストを用いて日常的に巡視点検を行い事故防止対策に取組みました。</p> <p>定例のケアプラザ職員会議では関係法令を遵守、事故防止、感染症対策、労働安全衛生等をテーマに対策を検討し、各部審会議で対策の徹底を図りました。また、公表された事故やヒヤリハットの内容をもとに原因分析を実施し、必要に応じて改善するとともに、随時職員に周知し、事故防止の徹底しました。</p> <p>今期において自主事業、貸館業務及び安全衛生を含む施設内の事故はありませんでした。</p> <p>②施設の維持保全業務 施設利用者の利便性・快適性の確保に努めることを基本とし維持保全業務を行いました。</p> <p>③個人情報の管理の方針 日常のすべての業務において常に「個人情報の保護に関する法律」等の法令、厚労省のガイドライン、横浜市の「個人情報保護条例」遵守しました。</p> <p>また秀峰会の「個人情報保護に関する規程」に従い利用者の権利・利益を保護するために、個人情報の適切な取扱に関し必要な事項を「個人情報保護に関するマニュアル」に定め、職員に対し研修を実施し意識向上を図りました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	ご利用者本人が目標を理解した上で、その意思・選択を第一にした支援を行う。また、地域にあるインフォーマルサービスも適切に活用し、自立した生活ができるよう支援を行う。	可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、公正中立にサービスの利用調整を行う。
利用料金・実費負担	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
職員体制	管理者:1名(常勤業務)、保健師:1名(常勤業務)社会福祉士:1名(常勤業務)うち管理者兼務1名)主任介護支援専門員:1名(常勤業務)	管理者:1名(介護支援専門員を兼務) 介護支援専門員:5名(兼務1名、専従4名)
契約者数	199件	56件

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市都田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,876,667	206,944	14,083,611	14,083,611	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	1,083,598		1,083,598	1,083,598	0	
収入合計	14,960,265	206,944	15,167,209	15,167,209	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,324,550	0	10,324,550	11,198,790	△ 874,240	
本俸	7,207,550		7,207,550	7,661,661	△ 454,111	
社会保険料	1,200,000		1,200,000	1,310,682	△ 110,682	
手当計	1,800,000		1,800,000	2,108,663	△ 308,663	通勤手当・賞与他
健康診断費	7,000		7,000	7,014	△ 14	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	110,000		110,000	110,770	△ 770	
その他			0	0	0	
事務費	1,352,500	0	1,352,500	870,585	481,915	
旅費	50,000		50,000	28,962	21,038	
消耗品費	327,500		327,500	162,110	165,390	
会議ठी費	10,000		10,000	16,579	△ 6,579	
印刷製本費	100,000		100,000	81,029	18,971	
通信費	400,000		400,000	393,331	6,669	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	11,902	188,098	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	28,102	1,898	
職員等研修費	15,000		15,000	11,730	3,270	
振込手数料	10,000		10,000	1,513	8,487	
リース料	10,000		10,000	9,900	100	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	200,000		200,000	125,427	74,573	
事業費	333,333	0	333,333	46,406	286,927	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	333,333		333,333	46,406	286,927	
その他	0		0	0	0	
I C T整備費（追加）	0	196,944	196,944	196,944	0	
I C T整備費（追加）	0	196,944	196,944	196,944	0	
オンライン相談機器整備費（追加）	0	0	0	0	0	
オンライン相談機器整備費（追加）（モデル実施対象施設）	0		0	0	0	
サニタリーボックス（追加）	0	10,000	10,000	0	10,000	
サニタリーボックス	0	10,000	10,000	0	10,000	
管理費	2,554,882	0	2,554,882	2,936,104	△ 381,222	
光熱水費	829,882		829,882	1,228,412	△ 398,530	
清掃費	1,230,000		1,230,000	1,226,433	3,567	
機械警備費	42,000		42,000	41,799	201	
設備保全費	450,000	0	450,000	436,710	13,290	
空調衛生設備保守	110,000		110,000	106,816	3,184	
消防設備保守	35,000		35,000	32,153	2,847	
電気設備保守	80,000		80,000	80,383	△ 383	
害虫駆除清掃保守	15,000		15,000	14,148	852	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	210,000		210,000	203,210	6,790	
共益費	0		0	0	0	
その他	3,000		3,000	2,750	250	
修繕費	395,000	0	395,000	0	395,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	14,960,265	206,944	15,167,209	15,248,829	△ 81,620	
差引	0	0	0	△ 81,620	81,620	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	333,333	0	333,333	46,406	286,927
自主事業 収支	△ 333,333	0	△ 333,333	△ 46,406	△ 286,927

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市都田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	20,761,667	0	20,761,667	20,761,667	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	128,333		128,333	128,333	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	4,566,667		4,566,667	4,566,667	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	96,603		96,603	96,603	0	
収入合計	25,553,270	0	25,553,270	25,553,270	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,783,292	0	22,783,292	20,908,979	1,874,313	
本俸	14,113,292		14,113,292	12,848,527	1,264,765	
社会保険料	2,800,000		2,800,000	2,644,403	155,597	
手当計	5,500,000		5,500,000	5,063,479	436,521	
健康診断費	20,000		20,000	14,165	5,835	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	350,000		350,000	338,405	11,595	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,082,500	0	1,082,500	1,870,281	△ 787,781	
旅費	170,000		170,000	158,976	11,024	
消耗品費	132,500		132,500	127,241	5,259	
会議賄い費	20,000		20,000	1,308	18,692	
印刷製本費	20,000		20,000	18,838	1,162	
通信費	200,000		200,000	151,617	48,383	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	13,067	36,933	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	28,101	1,899	
職員等研修費	40,000		40,000	4,063	35,937	
振込手数料	10,000		10,000	28	9,972	
リース料	10,000		10,000	1,540	8,460	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	400,000		400,000	1,365,502	△ 965,502	
事業費	903,333	0	903,333	470,873	432,460	
協力医	525,000		525,000	336,000	189,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	83,333		83,333	6,540	76,793	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	128,333		128,333	128,333	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	166,667		166,667	0	166,667	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
その他			0	0	0	
管理費	679,145	0	679,145	782,492	△ 103,347	
光熱水費	213,145		213,145	326,539	△ 113,394	
清掃費	330,000		330,000	326,013	3,987	
機械整備費	12,000		12,000	11,111	889	
設備保全費	121,000	0	121,000	116,079	4,921	
空調衛生設備保守	30,000		30,000	28,391	1,609	
消防設備保守	10,000		10,000	8,547	1,453	
電気設備保守	22,000		22,000	21,367	633	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	3,760	1,240	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	54,000		54,000	54,014	△ 14	
共益費			0	0	0	
その他	3,000		3,000	2,750	250	
修繕費	105,000		105,000	0	105,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	25,553,270	0	25,553,270	24,032,625	1,520,645	
差引	0	0	0	1,520,645	△ 1,520,645	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	378,333	0	378,333	134,873	243,460	
自主事業 収支	△ 378,333	0	△ 378,333	△ 134,873	△ 243,460	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市都田地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,652	3,232	2,420	4,044	6,353	-2,309	6,465	6,821	-356			0			0
	その他	0	0	0	0	50	-50	0	9,728	-9,728	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0			0			0			0
	雑収入	0	0	0	0	0	0		0	0			0			0
	委託事業収入	0	0	0	0	0	0		2,042	-2,042			0			0
	補助金事業収入	0	0	0	0	50	-50		50	-50			0			0
	繰入金収入	0	0	0	0	0	0		7,635	-7,635			0			0
	収入合計(A)	5,652	3,232	2,420	4,044	6,403	-2,359	6,465	16,549	-10,083	0	0	0	0	0	0
	支出	人件費	0	0	0	1,631	0	1,631	12,060	16,542	-4,482			0		
事務費		0	0	0	136	190	-54	2,244	2,020	224			0			0
事業費		0	0	0	0	0	0	0		0			0			0
管理費		0	0	0	0	0	0	0		0			0			0
その他		4,529	2,626	1,902	3,128	5,332	-2,204	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額			0	0		0	0			0			0			0
消費税			0	0		0	0			0			0			0
介護予防プラン委託料		4,529	2,626	1,902	3,128	5,332	-2,204			0			0			0
				0			0			0			0			0
その他				0			0			0			0			0
支出合計(B)	4,529	2,626	1,902	4,894	5,522	-627	14,304	18,562	-4,258	0	0	0	0	0	0	
収支(A)-(B)	1,123	606	517	-850	881	-1,732	-7,838	-2,013	-5,825	0	0	0	0	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	こども科学捜査班	令和4年9月	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	都田地区センター地域ケアプラザの周知啓発	3:養育者及び乳幼児	4:子ども・青少年	●実施内容 安全で簡単にできる「指紋採取」「血液反応」の体験。犯罪対策や空き巣の手口などの捜査関係の簡単な講話。 ●実施時期 2022年9月11日 10:00～11:30	1	15
2	都田小学校社会科事業	令和4年6月	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	近隣の施設「都田地区センター地域ケアプラザ」を知ろう。	3:養育者及び乳幼児	4:子ども・青少年	●事業内容 都田小学校3年生が来館し、ケアプラザ、地区センターの講話受講と見学 ●実施時期 6月9日 11:00～12:00	1	90
3	都田小学校総合学習	令和4年7月	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	「地域ケアプラザ」の役割を理解する。	3:養育者及び乳幼児	4:子ども・青少年	●事業内容 都田小学校3年生が来館し、ケアプラザについて講話受講 ●実施時期 7月7日 9:00～10:00	1	30
4	セタに願いを込めて	令和4年6月	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	都田地区センター地域ケアプラザの周知啓発	3:養育者及び乳幼児	5:地域	●事業内容 施設内に笹と短冊を設置し、来館者に記載していただく。 ●実施時期 令和4年6月21日～7月7日	1	85
5	子育て支援者会場	令和4年7月	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	養育者の子育ての不安を軽減・解消。	3:養育者及び乳幼児	3:養育者及び乳幼児	●実施内容 地区センタープレイルームで遊ぶ親子から、子育て支援者が必要に応じて相談に乗る。 ●実施時期 毎週金曜日 10:00～12:00	36	285
6	赤ちゃん会	令和4年7月	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	子育て世代へ向けた、育児に関する情報提供や、地域での仲間作り。	4:養育者及び乳幼児	3:養育者及び乳幼児	●実施内容 都築区役所地区担当保健師や、保育士主導で、手遊びや講話を実施。 ●実施時期 毎月第一火曜日 10:00～11:00	9	142
7	UVレジンキーホルダー作り	令和4年8月	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	都田地区センター地域ケアプラザの周知啓発	5:地域	5:地域	●実施内容 外部講師による、アクセサリー作りの講話・実践。 ●実施期間 2022年8月27日(土) 10:00～11:30	1	11
8	クールシェア 読み聞かせ会	令和4年7月	2:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	都田地区センター地域ケアプラザの周知啓発。節電。	3:養育者及び乳幼児	5:地域	●実施内容 スタッフ(大学生)による読み聞かせ ●実施期間 2022年7月31日(日) 14:00～14:30 2022年8月21日(日) 14:00～14:30	2	21
9	本気で学ぶなら、つだ塾。	令和4年9月	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①都田地域ケアプラザの周知②都田地区の高齢者の状況把握③介護予防の基礎知識や社会参加が介護予防・健康づくりに効果的であることを学び、介護予防G参加への足掛かりとする④ケアマネージャーにも周知し、介護予防ケアマネジメントの充実を図る	4:子ども・青少年	1:高齢者	介護予防総論(スポ協)、体力測定 & 栄養改善(日本調剤)、ハマトレ等体操(スポ協)、口腔機能向上(歯科衛生士)、体操(DVD)、認知症予防(コグニサイズ:新井主マネ) 12月22日:ハマトレ等体操(スポ協) 令和5年1月12日:栄養改善(管理栄養士)&体操(DVD) 1月26日:ハマトレ等体操(スポ協) 2月9日:口腔機能向上(歯科衛生士)&体操(DVD)	10	88
10	放課後の都田	令和4年9月	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	小学生に放課後過ごす場の提供と「遊びを教える」地域の方の交流の機会を提供する。	5:子ども・青少年	4:子ども・青少年	●事業内容 ①ポッチャ大会 ②折り紙教室 ③カレンダー作り、工作 ④昔遊び(けん玉、お手玉、コマ) ⑤その他、勉強等本人の希望に応じて ●実施時期 毎月第2、第3水曜日 14:00～16:00	13	177
11	サロンブロンナード 終活・エンディングノート	令和4年9月	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	都田地区センター地域ケアプラザの周知啓発及び終活の必要性やエンディングノートの基礎知識について普及啓発。	6:子ども・青少年	1:高齢者	サロンブロンナード敬老会にて終活の必要性・エンディングノートの基礎講座を行う。	1	19
12	サロンブロンナード フレイル予防・ハマトレについて	令和4年9月	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	都田地区センター地域ケアプラザの周知啓発及びフレイル予防について普及啓発。	5:地域	1:高齢者	サロンブロンナード敬老会にて介護予防の必要性・フレイル予防・ハマトレについて講座を行う。	1	19

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	サロンプロムナード 地域包括の役割・介護保険について	令和4年9月	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	都田地区センター地域ケアプラザの周知啓発及び地域包括支援センターの役割について普及啓発。	5:地域	1:高齢者	サロンプロムナード敬老会にて地域包括支援センターの役割の説明と介護保険説明会を行う。	1	19
14	リズムに乗ってLet's体操	令和4年12月	1:地域活動交流事業	2:優先的に取り組み	都田地区センター地域ケアプラザの周知啓発。節電。子育て世代の交流。おやこの広場「ぶらっとカフェ」の周知啓発。	5:地域	3:養育者及び乳幼児	●事業内容 講師による「リズム体操」実施。 ●実施時期 2022年12月18日(日)11:00~12:00	2	32
15	都筑区地域両親教室	令和4年12月	1:地域活動交流事業	3:優先的に取り組み	妊娠・出産・育児への理解を深め、夫婦で協力して育児に取り組む	5:地域	2:障害児・者	●事業内容 ・Popola紹介(10分) ・助産師による講話(50分) ・休憩(5分) ・沐浴体験(55分) ・マタニティジャケット体験(5分) ●実施時期 2022年12月4日(日)11:00~12:00	2	10
16	秋のスペシャルコンサート	令和4年11月	5:共催(1と3)	4:優先的に取り組み	ケアプラザの周知啓発。子育て世代や、障がいをお持ちの方に気軽にコンサートを楽しく頂く機会の提供。	5:地域	5:地域	●事業内容 地域のボランティア団体による演奏会。 ●実施時期 2022年11月26日(土)10:00~11:00	1	64
17	座うんどう	令和4年10月	7:共催(1と2と3)	5:優先的に取り組み	介護予防の運動をしながら、健康の維持向上、参加者間の交流を図る。施設の周知、利用促進を図る。	1:高齢者	1:高齢者	●事業内容 講師指導の下、クラシック音楽を聴きながら、介護予防、認知症予防を意識した、椅子に座ってできる運動を行う。 ●実施時期 毎月第2・4水曜日10:00~11:30	12	105
18	秋のボールウォーキング体験講習会	令和4年11月	7:共催(1と2と3)	6:優先的に取り組み	フレイル予防の運動となるボールウォーキングを体験し、健康づくりに役立てる。施設の周知、利用促進を図る。	5:地域	1:高齢者	●事業内容 ボールウォーキングの体験会2回連続講座を行う。 ●実施時期 2022年11月19日、12月17日(土)10:00~12:00	2	13
19	羊毛フェルトで作るX'sオーナメント	令和4年12月	1:地域活動交流事業	7:優先的に取り組み	羊毛フェルトでクリスマスツリーをかたどったオーナメントを作り季節を感じてもらう	5:地域	4:子ども・青少年	●事業内容 羊毛で作ったフェルトの土台に、色とりどりの羊毛を特殊な針を使って貼り付けていきます。好きにアレンジして、自分だけの木オーナメントを作る。 ●実施時期 2022年12月3日(土)10時00分~12時00分	1	17
20	折り紙で作るクリスマスリース	令和4年12月	1:地域活動交流事業	8:優先的に取り組み	小学生から高齢者までを対象におり紙で季節に合わせたリース作りを楽しんでもらう	1:高齢者	4:子ども・青少年	●事業内容 リースの土台から飾り付けまですべてを折り紙で、季節を彩るクリスマス用のリースを作る。 ●実施時期 2022年12月11日(日)10:00~11:30	1	10
21	貸館利用団体説明会	令和4年12月	5:共催(1と3)	9:優先的に取り組み	貸館ルールの周知、貸館利用団体の交流。	1:高齢者	5:地域	●事業内容 ケアプラザ登録団体に向けて貸館ルール説明会実施。「すごろくトーク」で貸館利用団体の交流を図る。 ●実施時期 2022年12月13日、15日10:00~11:00	2	22

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
22	大熊町おたのしみ会講話 (フレイル予防、口腔体操、コグニサイズ)	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	大熊町老人クラブにてフレイル等介護予防に関する講話を実施し、介護予防知識の普及・啓発を図る。	1:高齢者		●事業内容:フレイル予防について・ハマトレ紹介・実施・口腔機能向上について(お口の体操、早口言葉)・コグニサイズ実施 ●実施時期:2022年12月6日(火)11時~12時	1	21
23	大熊町おたのしみ会講話 (特殊詐欺防止)	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	大熊町老人クラブにて特殊詐欺被害の実態やデータ・傾向に関する講話を実施し、詐欺被害の知識や注意喚起を普及・啓発を図る。	1:高齢者		●最近の特殊詐欺の傾向 ●特殊詐欺被害件数・被害額について ●対応策・予防策の検討等 ●実施時期:2022年12月6日(火)11時~12時	1	21
24	大熊町おたのしみ会講話 (生活支援アンケート)	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	大熊町老人クラブにて都田地区の方を対象としたアンケートを実施し、生活支援ニーズの把握・今後の社会資源開発等の参考とさせていただきます。	1:高齢者		●事業内容:都田地区アンケート実施 ●実施時期:2022年12月6日(火)11時~12時	1	21
25	サロン「ひらだいたまりば」講話	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	都田ケアプラザから遠方な地域のサロンへ出向き、ケアプラザの役割・介護保険・権利擁護・介護予防への周知を図る。	1:高齢者		●事業内容 都田ケアプラザの紹介と事業紹介・ハートページ活用方法・質疑応答等 ●実施時期 2022年11月20日(日)14:00~15:00	2	5
26	CM向け虐待予防研修	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域で活動するケアマネージャーに対し、高齢者の虐待の傾向・知識を知っていたり、早期発見の意識を高めていただく。	6:事業者		●事業内容 高齢者虐待の現状・施策・事例検討・グループワーク ●実施時期 2022年11月15日(火)15:00~15:00	1	17
27	介護者の集い モンクCafe照	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者の孤立を 방지、悩みや大変さ・愚痴などを気軽に相談しあえるピアな関係づくりと適切な介護技術や知識を学べる場を提供する。	5:地域	1.6	●事業内容 地区の中心地に位置する眞照寺にて開催し参加のしやすさを考慮。茶話会を中心に身に勉強会等を実施	2	21
28	冬の星空めぐり	令和5年1月	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	施設の周知啓発	4:子ども・青少年		●事業内容 スター万華鏡作り ●実施時期 1月15日10:00~11:30	1	15
29	スタイルアップストレッチ	令和5年2月	2:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	施設の周知啓発	7:その他		●事業内容 講師指導の下ストレッチ実施 ●実施時期 2023年2月3日、2月17日10:00~11:30	1	52
30	手ぶらで通園バックを作ろう	令和5年2月	3:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て世代の交流	3:養育者及び乳幼児		●事業内容 ボランティアスタッフによる通園バック制作指導。 ●実施時期 2月6日13:00~15:00	2	18
31	親子でスタンプラリー	令和5年1月	4:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	関連施設の周知啓発	3:養育者及び乳幼児		●事業内容 関連施設でスタンプラリー実施 ●実施時期 12月1日~3月15日	1	13
32	子ども科学実験	令和5年3月	5:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	関連施設の周知啓発	4:子ども・青少年		●事業内容 講師による科学実験講座 ●実施時期 3月27日、3月30日 10:00~11:30	2	16
33	パーソナルカラー講座	令和5年3月	6:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	関連施設の周知啓発	5:地域		●事業内容 講師によるパーソナルカラー講座 ●実施時期 3月9日 10:00~12:00	1	14
34	都田地区認知症セミナー	令和5年3月	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	協力医小林先生による認知症に関する講演会を開催し、認知症に関する知識の普及啓発と協力医医療相談会の周知を行う。また認知症サポーター養成講座も同時開催し、サポーターを増やす。	5:地域		●事業内容 認知症の理解と支援 ●実施時期 3月9日 15:00~17:00	1	42
35	認知症サポーター養成講座	令和5年3月	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症サポーター養成講座を認知症セミナーと同時開催し、地域で活動するサポーターを増やす。	5:地域		●事業内容 認知症サポーター養成講座 ●実施時期 3月9日 15:00~17:00	1	42
36	事例検討会	令和5年2月	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネージャーのスキルアップ	6:事業者		●事業内容 個別ケースの事例検討 ●実施時期 2月24日 14:00~16:00	1	16
37	民生委員児童委員とケアマネ交流会	令和5年3月	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	民生委員児童委員とケアマネージャーの交流を重ねて連携体制を構築する。	7:その他		●事業内容 民生委員児童委員とケアマネージャーの交流 ●実施時期	1	26